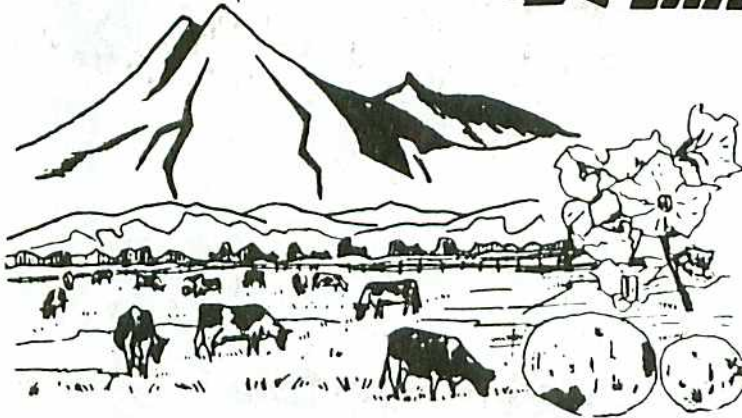


なか/べつ 農協だより



第108号

昭和58年12月

発行 中標津町農業協同組合
 編集 営 農 部
 印刷 アート印刷株式会社



12



開拓の労苦 報われる

根室農業賞受賞

俣落 山崎 翠

十一月十九日、農業協同組合
法公布記念日に、中標津町菊の
苑において、根室農業賞表彰式
が行なわれた。

根室管内五名の地域農業に貢
献した、酪農家をそれぞれ、そ
の労苦と栄誉をたたえ表彰され
た。

その中に、俣落の山崎翠さん
御夫妻が受賞された。



山崎夫人
翠 殿

山崎さんは、昭和二年長野県
から両親と共に現在地に入植、
五年間の病を克服し、「土に生き
る事が一生の仕事」と心に刻み
理想農業を目指し努力を重ね、
今日の酪農経営の基礎を築いた。
昭和三十五年に中標津町農協
監事に就任、昭和三十九年中標
津町農業共済組合理事に就任す
るなど地域農業、農協発展に貢
献、また部
落連合会長
の職にも就
れるなど地
域のリーダ
ーとして指
導的役割を
果たしその功
績が認めら
れて受賞と
なった。

「北海道の農業基本構想」の推進に総力を

——農協法公布記念日に当って——



北農中央会 会長 床鍋 繁 則

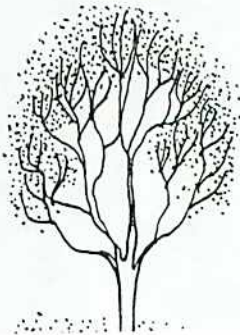
十一月十九日は、第三十六回
農業協同組合法公布記念日であ
ります。

この法律は昭和二十二年に、
農村の民主化を目標に制定され
たものですが、当時は国民食糧
確保が最重点課題とされて農協
を軸に、農業の振興に全力が注
がれました。

そういう時代の要請にそって
農協が食糧の増産と同時に、協
同の理念を通じて組合員の社会
的、経済的発展に果たした役割
は、非常に大きなものでありま
した。

以来、今日に至るまで、幾た
びとなく遭遇した冷災害、高度
経済成長下での労働力の流出や
農地の浸蝕、農畜産物の価格低
迷、主要農畜産物の生産調整と
変動と激減に洗われ続けつつも
その試練を克服してまいりまし
た。こうした幾多の難局を打開
しつつ、今日の近代化農業を確
立した背景には、農協運動を基
調とした相互扶助の精神と、強
い「協同の力」があったからで
あることを忘れてはなりません。

本会ではさきに、E.C農業調



査問を編成し、協同組合運動の
先進国であります欧州各国農業
の実態を調査しましたが、その
報告でも、わが国の総合農協は
先進国の組織を超える域にあり
世界に誇れる農協との自信をえ
ました。しかし甘んじることな
く一層の前進を期したく思いま
す。

また「糸乱れぬ「協同の力」
を反映して、農業政策に関して
も高いレベルにあることは確か
であります。反省すべき点は
こうした組織力や政策の充実へ
とともに、組合員一人ひとりの
自主、自立の努力もまた重要で
あると言ふ事でありませぬ。是は

是、非は非とし、層の発展のために処すべき課題のひとつであろうと思います。

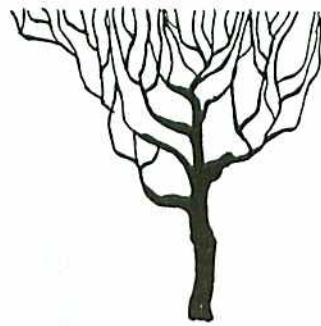
その様な観点から、私は、昨今「北海道農業および農業経営の発展方向ならびに生活上と系統農協組織強化について、その実現方策はいかにあるべきか」を農業対策審議会に諮問いたしました。その後一年余に渡り、全組合員農家を対象とした「組合員意識調査」をもとに、農協関係者の英知を集め審議を願っていましたが、このたび、昭和六十五年度を目標とした、

「北海道農業基本構想」の答申をええました。

この構想は、新しい時代にふさわしい北海道農業を築くためその主役となる組合員農家および系統農協の努力目標であり、その推進に必要な行政施策の確立目標としても位置づけ、全関係者一丸となって推進に取り組み所存であります。

農協法公布記念日を迎えるに当り、われわれはこの機会に、協同組合運動の理念を改めて確かめあうとともに、組合員および系統農協の行動目標として確

立された「北海道農業基本構想」を、みんなの力で実践するために、総力を結集しましょう。



昭和58年度 てん菜受入終る



今年度は、天候が悪天続きで作況も大幅に減産となった。受入は十月二〇日から十一月一〇日で終了したが、根室管内の反収はヘクタール当り、二・九・四トンでした。

中標津町農協では、反収三〇・四一トンを個人最高は四一・〇六トンを今年に終了しました。来年に向けての課題が残りました。

農協運営 6つの原則

農協

を

語る

ろう

運営原則 とは何か？

今回は、民主的運営の原則、出資配当制限の原則について述べてみたいと思います。

民主的運営の原則とは

組合の運営は、組合を構成している組合員の総意にもとづいて運営されます。自分たちで組織をつくり、その組織は自分たちで運営しようという自治組織の原則をもっています。

正組合員は、一人一票の議決

権と選挙権をもっており、出資金の多少には関係なく平等です。この権利にもとづいて、組合員は役員を選出し、事業計画や予算を総会で議決します。この点が持ち株数で株主を差別する株式会社とは基本的に異なる組織運動を行っています。組合員はお客様ではなく組合を運営する主役なのです。

出資配当制限の原則とは

農協運動は経済活動を基本とした運動ですが、利潤追求だけを目的とする一般の企業とは本質的に異なります。協同組合独自の経済制度をもっており、事業活動に必要な施設資金や資材の仕入れ資金などは、外部の資本に頼るのではなく、組合員の出資金によってまかなう事を基本としています。

組合の経済活動は、組合員自身のためのものであり、経済活動に必要な出資金は、投資家が株式配当を得ようとして投資に向ける資本とは、性格が基本的に違うので、一年の活動のうちに剰余金が生じて出資配当する場合も、株式会社のように無制限に配当するのではなく、年七パーセント以下に制限しています。

将来の高生産に備えての 乳牛仔牛の育成管理(II)

雪印乳業中標津工場

徳永隆一

§ 胃の構造

第一胃の容積は仔牛で25%、成牛で80%位であり、仔牛には食道溝があり、第一胃・第二胃を通さず液状飼料は直接第三胃第四胃へ流れ込むための溝がある。

§ 分娩後の哺乳

(1) 母牛と同居させ自然哺乳

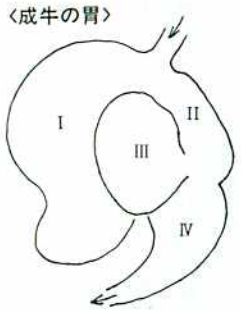
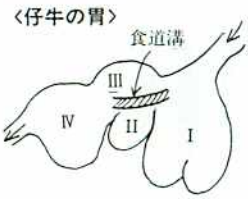
これに対し、乾草や粒状の飼料等は第一胃へ入ってプロトンア・バクテリア等が存在し飼料を分解して第三胃・第四胃へ送り栄養分の分解・吸収を行なう。

§ 仔牛の給水量

幼仔牛は発育が速いので若い時期ほど多くの水分を要求する。効果が有り、仔牛管理の手間を省く。唯し、同居期間はせいぜ

乳や飼料に含まれた水分も含めて育成中の牛が必要とするれば生後6ヶ月頃まで体重の10%位。しかし、気温・季節等により要求量は異なる。

(2) 母牛と別居させ人工的哺乳
分娩後、母牛と同居させ、初乳を充分欲するだけ飲ませる方は仔牛の発育のすべりだしを良くするのみならず母牛の乳房腫脹をときほぐす上にも非常に



I 第1胃(瘤胃) 前胃
II 第2胃(蜂巢胃)
III 第3胃(重弁胃・葉状胃)
IV 第4胃(皺胃) 腺胃

い3日位にて止めるべきである。これ以上になると人工哺乳が困難になる。

同居は生後の仔牛のかよわい

胃袋の発達を徐々に整えていく

ことが大きな目的であり、少量

づつ自由に数回となく飲むこと

に重要な意義がある。又初乳成

分をむだなく摂取できる。母牛

に対しては分娩から泌乳へと母

体生理をスムーズにしストレス

解消に役立つ。

現在の牛舎施設からして大半が分娩独房室をもっていないので、おのずと人工的哺乳になっている。

人工的哺乳の場合一日四回

にわけ、一回量を1kg程度(生

後仔牛の第四胃の容積は約1ℓ

位である)とする。哺乳量の決

め方は仔牛体重の約10%を一日

給与量とする。

例えば、生体重40kgの仔牛は

一日4kg位給与する。唯し乳を

消化する第四胃の能力は一回量約1kgだから一日四回の哺乳となる。

初乳は少なくとも5〜7日間

は絶対に与えなければならぬ。

代用乳は5日目頃より徐々に増

やし人工乳と乾草は2週令頃よ

り少量与える。又代用乳につい

ては5週令頃より減量し、人工

乳を哺乳。哺乳は50日令位でや

め、給水は自由とする。

馬鈴薯談義②

ばれいしよ品種改良のはなし

親えらび

根創農試 奥山善直

今流行のバイオテクノロジー品種改良の方面では、ポテトとトマトの合いの子ポメトーが良く引き合いに出される。地中にジャガイモがなり地上にトマトをつける植物が一九七八年西独で開発された。実用性はともかく、ジャガイモのなる性質とト

マトの実を着ける性質を親から引きついでいる。どんなに頑張っても親にない性質は子へは伝わらない。昔も今も変わらなく疫病に強く、でん粉含有率の高い優良品種が求められてきているが、疫病に強く、含有率の高い親を選んで、いまいちの品種

とを何度も経験している。こんな中で私達は、優良な子を沢山生んでくれる親を探しながら仕事をしている。近年エニワの血統から、トヨシロ、ホツカイコガネ、コナフキが生まれていることからエニワとその血統が多用されている。

理事会の経過



開催月日 十一月二十二日
開催場所 農協役員会議室

〈議案〉

- 一、昭和五十八年度九月末収支予算統制計画について。
- 二、昭和五十七年産共計澱粉の精算について
- 精算支払額（共計品）
- 一袋当り 六一円

工場取得戻し額（共計品）

一袋当り 三九〇円
合計 四五一円

原案どおり決定しました。

三、昭和五十八年度澱粉の生産物金融貸付金について

昭和五十八年産澱粉
共計品一袋当り三、五五〇円
一般品 〃 三、四〇〇円

〇貸付金利率

年 八・五%

〇償還方法

澱粉販売代金、又は、現金
原案どおり決定しました。

四、後継者農業振興資金並に町

農業改良資金の借入申込につ
いて

〇後継者農業振興資金

借入申込件数 二件

融資金額 五、〇〇〇千円

〇町農業改良資金

借入申込件数 三件

融資金額 九、〇〇〇千円

原案どおり決定しました。

五、冷害に伴う自作農資金の申

込について

〇借入申込件数 九件

〇借入申込金額

一三、五〇〇千円

原案どおり決定しました。

六、肥料特別対策費の支出につ
いて

〇特別対策費支出額

一〇、六四二、九六四円

原案どおり決定しました。

七、昭和五十八年度土地改良事

業の実施について
町の条例を以って行う事業

事業費 四〇四、〇六〇千円
補助金 三二六、七四八千円

融 資 一、六〇〇千円

自己資金 七五、七二二千円
原案どおり決定しました。

〈協議事項〉

一、私道除雪費の助成について
従来どおりきを助成すること
になりました。

二、農地取得資金のつなぎ資金
の利率について

利率の引下げ等について検討
がされ次回の理事会で決める
ことになりました。

三、担保物件実行に関する経過
について

協議経過をふまえて実施する
ことになりました。

四、昭和五十八年十二月末組助

残高見込について

十二月末で組助が貸し残とな
る組合員について個人別に協
議がなされました。

五、農倉用地の売渡し希望につ
いての取扱について

管理購買委員会に付託するこ
とになりました。

六、金融店舗の改善策について

管理購買委員会に付託するこ
とになりました。

七、農業開発公社の農家有機械
借上げによる草地改良につ
いて

〈報告事項〉

一、自治監査の実施結果につ
いて

二、昭和五十八年度澱粉工場の
操業実績について

三、乳肉複合経営推進事業の取
りまとめ結果について

四、昭和五十八年度一日貯金の
実績報告について

五、牛乳集荷時間の変更につ
いて

六、農業開発公社の農家有機械
借上げによる草地改良につ
いて

合理化澱粉

工場の操業終る

今年はおかしい悪い気象条
件の下で生産者も大変な努力を
して参りましたが、結果は平年
作を大きく下廻る結果で終りま
した。

こうした中で澱粉工場の操業
をして参りましたが生産者の御
協力により当初目標とした原料
処理量四十三万俵を処理する事
が出来ましたことは関係各位に

対し厚く御礼申し上げます。
操業開始九月二十四日、終了
は十一月十八日で実動五十四日
一日当り七、九九〇俵受け入れ
ライマン価十五・六パーセント

原料受入数量四三一、四五六俵
製品生産量一八八、七九九袋で
終了しました事を御報告致しま
す。

が出来ることは関係各位に

の習慣では、お花を持って教会に行くだけとの答えでした。これで全研修を終わったわけですが主婦の労働を必要としない農業経営が行われて居り、主婦は家庭管理、経営管理を担当しており、食事は保存食も含めて手作り、もしも、農作業から解放されたとしたら手作り料理が食卓を飾れるか？自問、自答して見ました。

私達は、多くの思い出を残し名残りを惜しみつ、、パリを離れ帰途に着いたので。

最後に、若年者の私をこの研修に参加させて下さいました婦人部の皆さん、後援して下さいました農協の皆さん、色々とお世話を頂きました事務局の皆さんにお礼申し上げます。

今後、この研修の成果を皆さんに報告し、より活発な組織活動に役立てたいと考えております今後共、御指導下さいます様お願い申し上げます。

アメリカ、カナダ農業を視察して

アメリカの 巨大農業を見て

家畜改良課 森 重 初 男

去る、十月三日から十七日までの十五日間に渡り、北海道家畜人工授精師協会が主催する第八回アメリカ・カナダの酪農・

人工授精研修視察に参加させて頂いた頂きました事に対して関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

アメリカ・カナダの酪農状況につきまして、過去に幾人もの諸先輩が視察をし、また幾度となく報告されて来ましたので今回私が、視察した中でアメリカ西部のデンバーにあります、モンフォートのフィードロットについて紹介をします。

サンフランシスコから空路三時間のデンバーに着いた一行二十一名は、翌朝デンバーから東に一〇〇キロ位のモンフォート・フィードロットに向った。

ロッキーマウンテン脈を後にしてチャーターバスで走ると目の前には

茶色の草原と枯れたコーン畑が無限に広がり、道路の両側に見える井戸を中心にしてぐるぐる回るセンター、ピボット式の灌水施設が耕地のいたる所に点在し、その一つの灌水施設で四十

ヘクタールもの土地に水を供給して、そこだけが緑色なものも何とも奇妙なものである。

バスのスピードは五十五マイル（八十八キロ）なので一時間と一寸でモンフォートのフィードロットが見えた。見えたといつてもただパドックが道路の片側に一キロ以上も続くだけで、

屋根のついた施設は中央にある事務所だけであり、この二日間アメリカの広さには驚きばなしである。

ここは、開設以来五十二年の歴史を持った肉用牛の牧場で、肥育から屠殺、そして全米各地に肉を売するためのマーケットまで持っている企業化された牧場であつて、このデンバー以外にも同じ様な規模の牧場がいくつもあつた。

このフィードロットは二〇〇ヘクタールの土地を所有し、肉用牛一〇万頭を飼えるパドックが約四〇〇もあり、一個のパド

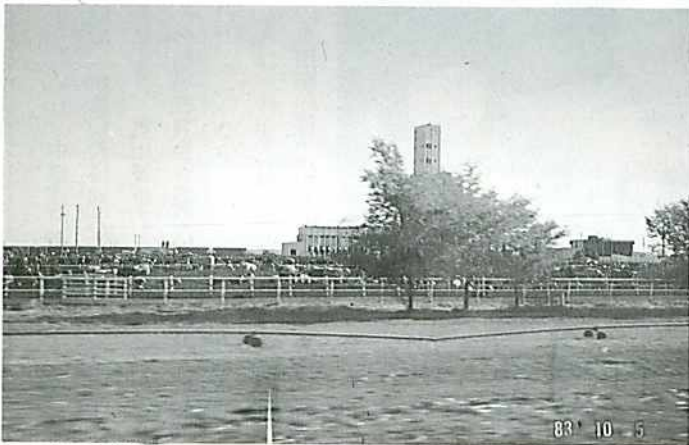
ックの広さは約四〇アールで、この中に、三〇〇頭から三五〇頭の肉用牛が肥育されている。この日は、約七万頭の肉用牛がいたが、そのほとんどはヘレフォードやアングスであるがホルスタイン種も少し見る事が出来た。

これらの元牛は、ほとんどミシシッピー川の西から、一五ヵ月から一八ヵ月で入つて来て、この時の体重は七五〇ポンドから八〇〇ポンド位

で一ポンド当り、七〇セントで購入している。

この元牛を肥育する訳だが、ここでは一、二〇日から一四〇日の間に二、一〇〇ポンドから一、二〇〇ポンドにするというから一日の増体量は一

八ポンドから三、〇ポンドになる。また斃死率は一%以下で病気にかかる牛は、一日平



フィードロット風景

均二七頭と少なく、一八人のカウボイが一日に二回見回りを行なっている。

日本では、肉牛個々の体重を見ながら屠殺を行なっているがここでは、肉牛一頭ごとの選別はしないでパドック単位で一日当り一、二〇〇頭位を屠殺し肉としてマーケットに売り出している。

ファイデングは、すべてコンピューターによる管理で、自分の飼料工場で作られた餌とコーンサイレージを一日に二回朝七時から四時三〇分まで給与して

いる。このコーンサイレージは事務所への入口近くに、ビニールも土もかけていない状態で野積みさされていたが、とても四〇万トンを二週間で作ったものとは思えなかった。

モンフォートのフィードロット一カ所の規模を見ただけで、肉の輸入自由化時代が来ると、日本の肉畜など足元にもおよばないと感じ、次の視察地であるピッカート牧場にマリナーの母を訪ねた。



フィードロット
デントコーンサイレージの野積み

電話局からのお知らせ

**電話の移設
工事受付は
12月16日まで**
中標津電報電話局

毎年、年末をひかえ電話の移転工事が大変混み合いますので早目にお申し込みください。年内の申し込み受付は、十二月十六日(金)で切らせていただきます。

なお、十七日以降の申し込みにつきましては、明年の工事と

なりますのでご了承ください。

② 一日にできる工事件数が限られているため、限度になりしだい切らせていただきます。

また、工事内容によっては希望日にできない場合がありますのでご了承ください。



当幌地区 奥田健雄君
昌江さん



十一月六日、中標津町寿宴において、伊藤松義様御夫妻の御媒約により、奥田健雄君と昌江さんの結婚祝賀会が盛会に開催された。

二人は、昨年三月、同じ地区内の奥田勝佳様の紹介で出合い

となり、約一年半の交際が実つてゴールインとなった。

昌江さんは、余市の赤井川出身で、酪農への夢を抱いて、上春別の唐沢牧場で八年間の酪農実習を経験、動物が好と言う彼女は、酪農家のお嫁さんとして今、はばたこうとしています。

健雄君は、高校卒業して、酪青研に加入し、酪農技術を学ぶ一方、フォークダンスクラブに加入し週に一度の例会には必ず出席し仲間との交流も行うなど文化活動にも活発に活躍している青年です。

二人は、今後、地域に根ざして、活躍される事でしょう。

営農技術

よりよい営農を期待し 経営者機能を考えよう

北根室地区農業改良普及所

今年もまた一年の総まとめと次年の営農計画策定の時期になりました。

本年は、牛乳生産調整が僅かながらも緩和、明るさの見られる幕開けでしたが、五月下旬からの農耕期は、低温・寡照・湿润と根柢農試の気象観測始まって以来の異常気象に推移、非常に苦勞の多かった一年でした。

畑作関係は生産収量に大きな影響を受けましたが、酪農関係では粗飼料品質は別としても、量的確保はほぼ十分でありましたし、牛乳生産量も、一〇一〇月の前年対比では約9%の伸びを示すなど、農家の方の努力で、被害を最小にとどめることができました。しかし、悪条件にあつただけに戸別には、予期以上の成果を上げられた方もあるでしょうが、反面計画を大きく下廻つた方も多いと思います。そ

れだけに新しい年に向けて大きな期待をかけておられるでしょうが、営農を進めるにあつて、経営者には三つの機能が必要と言われますので、このことを今一度考えて下さい。

それは「意志決定の機能」「決定に基づく実行機能」「責任・負担の機能」がそれです。

一、意志決定の機能

意志決定はその年の営農をどのように進めるか、計画の樹立でもあります。この場合、飼料の生産はどうであったか、作業の進め方にぬかりはなかったか牛乳の生産は、牛の状態は、また経済面で計画に対する費用の実態は、などのきびしい実績の検討が必要です。更にとりまぐ諸情勢の判断も必要になってきます。営農計画は単なる数字のゴロ合せではなく、その年の営農を如何に進めるか、羅針盤で

もあります。

二、決定に基づく実行機能

計画方針が決定すると、これに基づいて実行努力することによって実行如何が経営成果を左右することになります。ただ実行段階

で全く条件が変わらないとは言えません。価額の変動、天候異変

また乳牛の思わぬ事故などですが、こうした条件変化には直ちに

に対処する態度が必要です。時には条件変化に遭遇しても、当初計画の支出面だけを忠実に守

る農家を見かけますが、このよ

うな農家は第二の機能を完全に

果しているとは言えません。常

に営農計画書を手元に置き実績

との対比が必要です。

三、責任・負担の機能

次が経営的責任の負担です。

経営成果の良否にかかわらず、

すべて経営者の責任であり負担

になってくることです。牧草の

品質が悪い、天気が悪いから、

乳量が少なくて受胎が悪かった

から、乳質が悪い、乳房炎の牛

と願います。

以上経営者として持つべき機能について述べましたが、次年度に期待をかけ、それぞれの計画を考えていることと思いが、この機能システムから、今年一度、本年の実績反省と計画の内容を検討していただき、良い五九年の営農であつて欲しいと願います。

ヤング登場

拓農 佐藤 敏君



今回のヤングは、拓農地区の佐藤敏君に登場していただきました。

敏君は、酪農経営を営む、父、二男さんの長男として高校卒業後、根室支庁の農業学園で二年間学び酪農体験五年目、今経営、技術に関心を寄せる青年です。

現在は、中標津四Hクラブの会長を務めながら仲間と共に、酪農技術の学びと、仲間づくりに励んでいます。また、現在は、四Hクラブに参加する青年が少なく、多くの青年に参加してほしいと希望をもらっていました。

又、青年会活動にも参加し、多くの友と交流をするなど活発な反面、静かに読書をするのが好きで一週間に一冊程は読みこなす程度だそうです。最近、パーソナル無線にも興味を持つなど、親の経営を助け今後益々活躍される事でしょう。

生活講座

家計簿記帳

結果の検討!

〔北根室地区農業改良普及所〕

今年の家計簿記帳はいかがでしたか。そろそろ一年のとりまとめと検討の月がまいりました。記帳結果を生活に役立てるために、検討する要点について述べてみます。

はじめにたてた家計予算に比較して、支出が大幅に上まわっていないかどうか、あれば原因をたしかめます。

家計費は農業収入をもとに成り立っているのですから、収入と支出の関係を見て、つり合いがとれているかどうか、所得の割に家計費がかかり過ぎていないか、バランスを見ます。

次に費目別支出の内容について検討します。

(イ)嗜好は飲食費の一〇%まで、飲食費は、家族の健康に直接影響を及ぼすものですから、第一に考えなくてはなりません。家族に必要な食品を満たされる

額かどうかということですが、し、飲食費の中には嗜好費も含まれているので、注意しなくてはなりません。嗜好費の占める割合が高ければ、飲食費が十分満されていても、家族の健康を考えたものとは言えません。

食べる楽しみのための嗜好費は飲食費全体の一〇%以下におさえること、主食と副食の割合は一对三以上であることを目安にします。

現金で支払われた飲食費ばかりでなく、自家生産物の、野菜、牛乳、卵、肉類等についても現金換算すると、どの位になるか無駄なく利用されているか、検討してみます。酪農地帯での飲食費の自給目標は五人家族で、

四十万円、飲食費の約三〇〜三五%位といわれています。

(ロ)被服費は一〇%以下にうっかりすると、たまにしか着ない外出着に多額の金をかけたり、あまり着ないものを店先で衝動的に購入してしまうことがあります。着用時間から考えると、作業衣、普段着、下着類が最も長くなるので、これらに重きをおき、見かけの良さにとられない生活感覚で検討しましょう。

(ハ)水道・光熱費

電気、ガス、石油、灯油などきめ細かな使い方です上手に利用しましょう。暖房に要する灯油代は、一戸当り平均二〇万円位ですが、灯油から薪や石炭にかえたり、増改築の際には、断熱材を入れるのも大切です。

室内の暖房温度を一〜二度下げると、燃料代の一〇%位の節約ができるといわれています。

(ニ)交際費は多くても六%以内



家計に合せて無理のない範囲でおこなわれているかどうか、家計費の中で車費は年平均五〇万円位使われています。そのうちガソリン代は二〇万円位で、車は生活の足として、なくてはならない存在でありながら、使い方によっては、家計を圧迫することになりかねません。

(ホ)車費

短歌

農村生活をとおして

日々の仕事

生活を歌った

西武佐 石橋 喜美夫

土のしばれ解けきりたるか整地せむ畑に鉄棒刺して確かむ

畑末の立木を目標にトラクター走らせ薯播く一直線に

自動車の立つる土埃坂上の畑に飛び来る薯播きをれば

末の子を保育所に今年あつけ得て馬鈴薯播きに田が加はる

旅をせむ約束果たせず薯播きを連休の子に手伝はせぬる

トラクターの吾に昼刻を知らせむと妻が手を振る厨の窓に



前回九月号で一度紹介致しましたが、新たに六十名ほどよりレポートが提出されましたので二題ほど紹介します。

なお、実習生の目からみた感想をまとめてみますと次のようになります。

- 実習は有意義である 五三名
- 実習不賛成（獣医になるのに関係ない） 五名
- 家族がよくしてくれた十二名
- 食事が悪い 六名
- 酪農の厳しさが判った 七名
- 飼養管理に不満がある 二名
- 実習期間が長すぎる 三名
- 再び実習してみたい 六名

以上のように大多数の実習生が、有意義な実習と考え、かつこれを契機に成長する。これも受入農家の指導と酪農に対する下向きな打込みに対し感銘を受けてのことと思います。

体験記その三

北海道での実習は、都会の環

境、生活習慣がかなり異なり、さらにすべてが初めての体験で失敗の連続で長く苦しいものであったが、酪農家の苦勞や喜び、酪農という職業が地味ではあるが、その職業がいかに厳しく、我々の社会生活にとって重要な地位を占めているということを実際に体で感じることできたしそれと同時に何か大きなことをなしたような充実感と満足感で私の心を満しました。これは、机の上での小手先の勉強では、とても味わえるものではないような気がします。

一方獣医学というものが酪農と密着したものであり単なる理論だけでは、できないものであり自分の体を使い動物と大地を愛する。まさに土のにおいのする学科なんだと痛感しました。

体験記その四

起床朝五時、それは私にとって誠に苦しいものでした。とい

っても、牛舎の一面に陣取られていた私の部屋では、毎朝私を起こしてくれるのは牛たちである。お世辞にもかわいいといえない牛の声、私には、「モウー」というよりも「ウー」と聞こえた。

搾乳が終わると、牛舎のクツ出し、そして放牧、その頃には一汗かいて、もう腹もペコペコ何年ぶりか、こんなにうまい朝飯を食べたか。

さすがに乾草の梱包上げは、きつかった。しかし、畑で食べたおにぎりの味。休憩の時に飲んだビールの味。あれだけは、どこにおいても味わえないだろう。

広い大地、青い空、澄んだ空気、汗の香り、水のうまさ、それらひとつひとつが私に、体を動かす喜びと、仕事を終えた時の充足感、心地良い疲労感：帰りの列車の中で、景色を見ながら思った事は、帰れるという喜びと、この自然の地から、別れるという寂しさが入り混じった、複雑な気持ちであった。また、いつか、来よう！！

九分咲きに桜なれるを肌寒衣着てトラクターに乗る

風邪の子を寝かせある家霧流れかすみで見ゆる畑の末に

道端の草さわわ立てつつタンブ車が吾の車の前を走れる

舗装路のここ通るたび亡き義父の工事してぬしこと思ひ出づ

旅行より戻りて畜舎に入りたれば乳牛の鳴く甘え声にて

吾の姿見つくるたびに妻にせぬ甘え鳴きをこの牛はせる

牛舎の窓より入り来る夕霧にスモモの花の香り混れる

この牛に再び耳にす他の牛に一度も聞かざる放屁の音を

産みの親亡くせる仔牛に他の牛の搾りたてなる乳を与ふる

生まれ来て七日を経たる仔牛はや汚れてぬざる場所を選び寝る

雲間より及ぶ日差しに仔牛らの草食む牧区明るみてをり

草原を二分けて続く牛の道の末に小さく牛舎が見ゆる

農道に車を待たせ離農せむ友は見てをり売りたる畑を

かつて友住みぬし家に今宵より他の人越し来て灯り点れる

昭和58年度除雪計画

除雪路線は下記の通りで本年度は俵橋9線から俵橋高台、東俵落から当幌の山川さん、南8号30線から33線の間が、除雪路線の対象となりました。

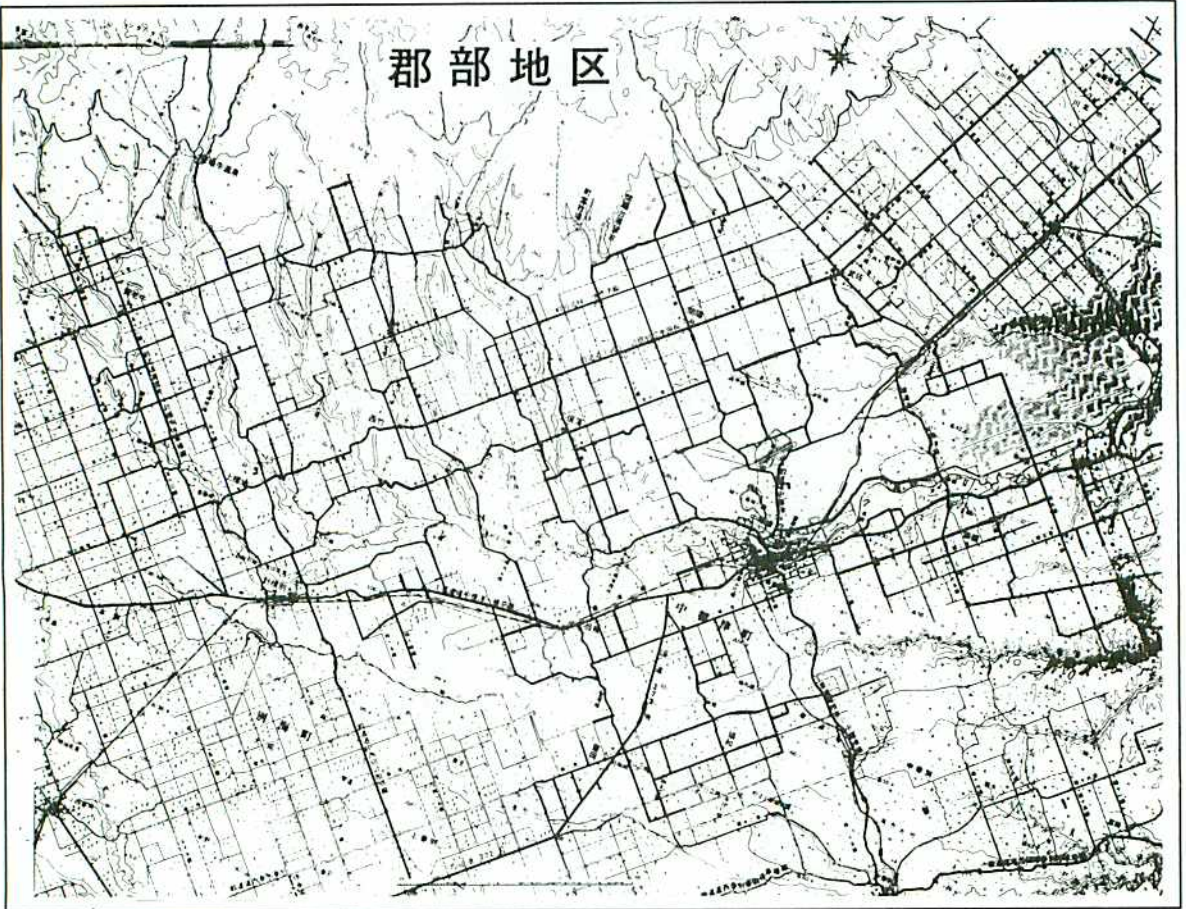
除雪体制は従来と同じですが、今年から、集荷路線（私道）の町の負担金 $\frac{1}{3}$ が削減されました。

農協としては $\frac{1}{3}$ を負担致しますが極力自力で路線の確保をして下さい。降雪量等にもよりますが、対象者はトラクターの無い人、道路延長の長い、又は吹溜りがひどい箇所等に致したい。

従って経費の負担は農協 $\frac{1}{3}$ 、受益者 $\frac{2}{3}$ となります。

緊急事態発生の場合（人身のみ）は警察署又は消防署を通し、町に要請して下さい。

郡部地区



検査成績

月	ランク		0	1	2	3以上
	10月	57年		563	292	28
58年			789	87	9	0
11月	57年		636	228	18	0
	58年		795	74	16	0

氏名	上旬	中旬	下旬	氏名	上旬	中旬	下旬	氏名	上旬	中旬	下旬	
西山一義	0	0	0	真野米光	0	0	0	武田淳志	0	0	0	
佐々木一邦	0	0	0	寺島享	0	0	0	後木意子	0	0	0	
赤波江彦	1	2	0	佐藤憲治	0	0	0	久保栄興	0	0	1	
日下芳昭	0	0	0	佐藤忠男	0	0	0	新井真博	0	0	0	
加茂正毅	0	0	0	佐藤和雄	0	0	0	片野博	0	0	0	
佐々木政行	0	1	0	塩田専治	0	0	2	第二 俣落地区				
三友盛行	0	0	0	五十嵐徳治	0	0	0	西村徳守	0	0	0	
高島貞作	0	0	0	山田中本	0	0	0	西垣洋	2	0	0	
福田信起	0	0	0	田安達和	0	0	0	保科清	0	0	1	
古田雄	0	1	0	安志賀和	0	0	0	松岡喜代之助	0	0	0	
本多萌夫	0	0	0	志賀正	1	0	0	田代昭	1	1	2	
中村敏夫	0	0	0	志賀永	0	0	0	井ノ口定則	0	0	0	
真野勇夫	0	0	0	篠原	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
小田俊夫	2	2	2	俣落地区					安江八五郎	0	0	0
多岩正哲	0	0	1	原栄一	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
伏見一平	0	1	2	大木敏夫	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
中川一	0	0	1	小林金司	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
武佐地区				板橋松寿	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
丹羽孝	0	0	1	岩井昇好	0	0	1	安江八五郎	0	0	0	
丹羽賢一	0	0	0	服部幸一	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
丹羽哲雄	0	0	0	遠藤幸吉	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
上原徳保	0	0	0	遠藤幸文	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
工藤正義	0	0	0	高松晴美	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
舟橋清高	1	0	0	小山村芳春	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
酒井清志	0	0	0	小管弘志	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
目黒雅隆	0	0	1	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
工藤雅美	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
児玉光彦	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
白田慶一	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
井口精一	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
川上茂	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
長谷川	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
花尻武由	0	0	1	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
中村保章	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
奥村信二	0	0	1	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
高橋昌信	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
中藤秀夫	1	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
藤原勝一	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
林文敏	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
佐藤昭一	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
佐藤一賢	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
清原一稔	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
湯山幸男	0	0	1	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
門馬四郎	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
中塚文夫	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
石原竜雄	0	1	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
西井武	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
土井信一	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
上井正雄	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
小沼佐太	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
熊谷正	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	
山本雪	0	0	0	上村重光	0	0	0	安江八五郎	0	0	0	

質のよいミルクをつくるために
これだけは守りましょう。

6つのルール

- 手と乳房を清潔にすること
- 搾乳装置を正しく選び正しく使うこと
- ミルクの適切な冷却と貯蔵
- 搾乳が終わるたびに洗浄
- ライナーとミルクチューブの定期交換
- ミルクシステムの定期点検

※検査ランク2の場合は当日出荷乳量に1kg当り5円、3以上の場合には100円のペナルティが課せられます。

11月乳質

氏名	上旬	中旬	下旬
鈴木修	0	1	0
高橋一男	0	0	1
高平幸夫	0	0	0
中本要	0	0	0
半沢利平	0	0	0
国見一男	0	0	0
国見実	0	0	0
齊藤哲雄	0	0	0
伊藤秀七	0	1	0
千藤秀	0	1	0
村井清一	0	0	0
山崎直隆	0	0	0
後藤信夫	0	1	0
齊須志清	0	0	0
今井靖	0	0	0
山田昭男	0	0	0
房川喜延	0	0	0
井上亮夫	0	0	0
笠井剛	0	0	0
赤堀岩男	0	0	0
開陽敏夫	0	0	0
依橋			
名越成夫	0	0	0
乾雅晴	0	0	0
乾洋	0	0	0
伊藤武雄	0	0	0
大富雄二	0	0	0
山下孝治	0	0	0
北川栄二	0	0	0
水本正二	0	0	0
水本みどり	0	0	0
山本正八	0	0	0
榎田英雄	0	0	0
穴吹貞明	0	0	0
佐藤きえ子	0	0	0
佐々木昭雄	0	0	0
野口忍	0	0	0
太田功	0	0	0
岡次郎	0	0	0
金子安有	0	0	1
高野国雄	0	0	0
中工忠雄	0	0	0
工藤弘	1	1	1
赤波江清	0	0	1
沢口俊夫	0	0	0
桜井義雄	0	0	1
西山健	0	0	0
大西一郎	0	0	0
大福英昭	0	0	0
福島昭憲	0	0	0
下川秀子	0	0	0
三輪貞夫	0	0	0

氏名	上旬	中旬	下旬	氏名	上旬	中旬	下旬
飯島光五郎	0	0	0	長淵貞義	0	0	0
飯島精市	0	0	0	石崎多門	0	0	0
奥田佳佳	1	0	0	林仁一郎	0	0	0
奥田健雄	0	0	1	高藤祐蔵	0	0	0
中山安寿	0	0	0	高連田弘	0	0	1
阿部俊勝	0	0	0	永谷雄幸	0	1	0
鈴木祥幹	0	0	0	長縄弘	0	0	0
西木垣丈夫	0	0	0	麻郷地忠勝	0	0	1
小原夫治	0	0	0	小花針川晴信	0	2	1
小田繁行	0	0	0	古沢一翠	0	1	0
竹村満夫	0	0	0	花川稔	0	0	0
高橋常次	0	0	0	今井輝男	2	1	0
筒井富男	0	0	0	岡部実行	0	1	0
筒井良秋	0	0	0	渡辺善行	0	0	0
室井太吉	0	0	0	松隈健二	0	0	1
安田吉稔	0	0	0	古瀬豊	0	0	0
山田一男	0	1	1	藤本久雄	0	2	2
松田吉正	0	0	0	小川清	0	0	0
舟田正義	0	0	0	佐藤道嘉	0	0	0
菊地良三	0	0	0	藤末美	0	0	0
遠田要	0	0	0	佐藤永	0	0	0
西山隆一	2	1	1	佐藤永	0	0	0
長正路清	0	0	0	佐藤東	0	0	0
大野富夫	1	1	0	望月幸男	0	0	0
吉成ハナ子	0	0	0	白築政博	0	0	0
福成村守	0	0	0	武橋勇	0	0	0
遠藤弘成	0	0	0	高橋敏夫	0	0	0
唐幸司	0	0	0	熊倉彦吉	0	0	0
中標津地区				小林茂夫	0	0	0
緩坂欣一	0	0	0	阿部正六	0	0	0
緩坂恭民	0	0	0	佐藤三男	0	0	0
吉川晴久	0	0	0	開陽	0	0	0
滝場慎二	0	0	0	土井上男	0	0	0
久保慶一郎	0	0	0	向館金吾	0	0	0
久我良夫	0	0	0	山田輝男	0	0	0
正城純一	0	0	0	浅野トミ子	0	1	0
荒昭一	0	0	0	吾妻紀己	0	0	0
桜井幸一	0	0	0	鈴木高	1	1	1
佐々木繁一	0	0	0	桜井寿夫	0	0	0
佐藤信義	0	1	0	高橋勝義	0	0	0
三森章司	0	0	0	中本栄二	0	0	0
下山幸一	0	0	0	丸田良夫	0	0	0

賞品を受けとっていない方は
広報係まで申し出下さい。

間違いさがし



この絵の中には、いくつ間違いがあるでしょうか。間違いを見つけて、その数をハガキに書いて送って下さい。

【応募規定】

①官製ハガキに答えを書いて送って下さい。

②あなたの氏名、年令、住所を書いて下さい。

③対象者 小、中学生

④宛先 中標津町東七条南一丁目

中標津町農協組織広報係

⑤締切り 十二月二〇日まで

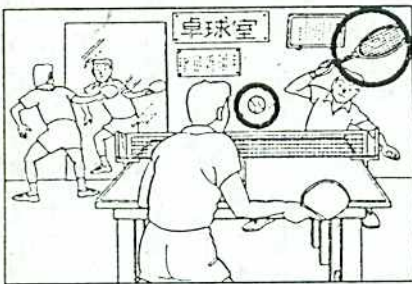
※応募下さった方には全員参加賞を差し上げます。なお、正解者には当り賞を贈呈いたしますので多数応募下さい。

※発表は、五十九年二月号で発表いたします。

【十月号の当選者】

十月号の正解は「コニフ」(下の図の○印)でした。応募者数八名で正解者は、一人もいませんでしたが、参加賞を差し上げますので広報係まで申し出下さい。

<10月号の間違い個所>



表紙写真



今回の表紙写真は、新生地区の田代智子さん二十四才です。
智子さんは、嫁いて四年、二人の子供さんに恵まれ、子育ての真最中、家の仕事にも慣れて主人と共に酪農に励んでいる明るいお嫁さんです。

お知らせ

開催日せまる!!

乳牛の哺育々成

飼養管理技術講習会

日時 昭和58年12月22日 午前10時
場所 中標津町農協 大会議室
講師 熊谷 宏氏

ホテイコンデションでおなじみの獣医師で、体験を生かした貴重なお話が出てきますので多数参加下さい。